

長野県社保協ニュース <23-3>

2018年5月19日(土) 長野県社会保障推進協議会

<事務局>長野市高田 276-8 県労連会館 1階 TEL 026-223-1281・FAX 026-223-1291

http://www.n-syaho.com E-mail: naganosyahokyou1281@star.ocn.ne.jp

「社会保障は国の責任で」(25条署名) 8286筆の署名を提出(県選出議員6人に)



5月17日、中央社保協や民医連などが主催する国会署名提出行動が行われ、介護保険の改善と社会保障の拡充を求める二つの署名あわせて27万筆分を国会に提出しました。180人が参加した署名提出では、日本共産党の武田良介参院議員と宮本岳衆院議員、国民民主党から下條みつ衆院議員が挨拶し署名を手渡しました(写真左)

長野県からは9名(飯伊民医連6、県民医連事務局2、県社保協1)が参加し、「社会保障は国の責任で」(25条署名)8,286筆分を県選出議員に届け、要請しました。

3議員と懇談、後藤議員は署名を受け取らず

要請では、杉尾秀哉参院議員(立憲民主)、藤野保史衆院議員(日本共産党)、下條みつ衆院議員と懇談。秘書による対応は3名(篠原孝、後藤茂之、宮下一郎氏の各衆院議員)でした。各議員には選挙区ごとにまとめた署名を手渡し、社保協が取り組んだ「介護・認知症電話相談事例」と、民医連による「経済的事由による手遅れ死亡事例調査」の結果を報告しました。



杉尾秀哉参院議員は懇談で、「党としては、安倍暴走政権を倒す



ことが最優先だが、皆さんの請願趣旨を重く受け止める。知合いの厚労委員にもしっかりと伝えたい」と紹介議員を快諾(写真右)。藤野保史衆院議員は「皆さんから寄せられるこうした事例こそ、何よりも説得力を持ちます。事例の前では政府も何も言えなくなる。(事例は)委員会でも使わせていただく」と応じていただきました(写真左)。

今回の要請で、衆議院厚生労働委員の後藤茂之氏は「紹介議員はお受けできない」と署名は受け取りませんでした。

福祉医療給付制度の改善をすすめる会講演会

間近か

どなたでも参加できます

講演1.「群馬県での子ども医療費完全無料化実現の運動と今」野村喜代子氏(群馬県新婦人の会会長)

講演2.「無料化反対論をどう考えるか」和田浩氏(健和会病院副院長・小児科医師)

日時: 2018年5月27日(日) 13:00~16:00

場所: 松本市・松本勤労会館 JR松本駅から徒歩15分 松本市中央4丁目7-22 TEL 0263-35-6286)

講演の後、年次総会を開催